

**厚生労働省 平成22年度 認知行動療法研修事業
認知療法・認知行動療法研修会 募集要項**

1) 目的

うつ病の患者数は、この12年間で2.4倍増の約100万人となり、うつ病への治療対策が急務となっています。このため、うつ病の治療に有効とされる認知行動療法について、主に精神医療において専門的にうつ病患者の治療に携わる者に対する研修を実施し、この療法の普及とうつ病患者への治療の質の向上を図ることを目的としています。

2) 開催地・開催日

- ① 大阪府吹田市山田丘2-2 大阪大学学友会館銀杏会館
2月13日（日曜）9:30～17:30
- ② 岩手県盛岡市大沢川原三丁目7番30号 国保会館大会議室
2月20日（日曜）9:30～17:30
- ③ 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学医学部講堂
3月13日（日曜）9:30～17:30

3) 受講対象者

精神保健医療に従事する医師、看護師、保健師、精神保健福祉士、臨床心理技術者

4) 定員 各開催地 100名程度

5) 受講料 無料

6) 研修内容

平成16年度厚生労働科学研究費補助金「精神療法の実施方法と効果に関する研究」および平成22年度から始まった厚生労働科学研究費補助金「精神療法の有効性の確立と普及に関する研究」で作成し有用性を検証した「認知療法・認知行動療法治療者用マニュアル」と研修マニュアルに準拠したプログラムに沿って、講義及びグループワーク等を行います（各地共通）。講師は、大野裕、田島美幸（慶應義塾大学）、工藤喬（大阪大学）、大塚耕太郎（岩手医科大学）、他若干名を予定しています。

研修プログラムの概要（予定）は以下のとおり。

- ① 認知療法認識尺度（CTAS）を用いた知識の確認
- ② 認知療法・認知行動療法の概要と厚生労働省研究班作成の治療者用マニュアルの解説
- ③ 「こころのクセテスト」を通じた認知の歪みの学習
- ④ 「症例の概念化」の解説とグループワーク

- ⑤ ビデオを用いた認知療法への導入の解説
- ⑥ ソクラテス的質問法の説明とグループワーク
- ⑦ 行動活性化の解説
- ⑧ 非機能的思考記録表を用いた認知再構成法の解説（ビデオを利用）とロールプレイ
- ⑨ 問題解決法の解説とグループワーク
- ⑩ ビデオを用いたアサーションの解説
- ⑪ スキーマと終結の説明

7) 申し込み方法

「認知療法・認知行動療法研修会申し込み」と明記の上、以下の情報をお書きいただき、下記番号（03-5363-3215）までファックスしてください。

- ① 氏名
- ② 所属（勤務先）
- ③ 職種
- ④ 連絡先住所・電話・FAX
- ⑤ メールアドレス
- ⑥ 参加希望会場

8) 申込締め切り 平成23年1月31日（月）まで

9) 受講決定通知

締め切り期限内に応募があった中から選考の上参加者を決定し、2月4日までに、メールにて結果を通知します。

10) その他

- * 昼食・宿泊については、用意・案内はございませんので、各自でお願いいたします。
なお、大阪会場は周囲に食堂がないため、昼食を持参していただくようお願いします。
- * 本研修会では、受講証書の発行は予定しておりませんので、ご了承ください。

11) 申込先・問い合わせ先

慶應義塾大学医学部 ストレスマネジメント室
TEL03-5363-3214/FAX:03-5363-3215